

平成27年度庄原市行政経営改革審議会 会議録（摘録）

1. 開催日時 平成28年3月28日（月）  
開 会：14時00分  
閉 会：15時50分
2. 開催場所 庄原市役所 第2委員会室
3. 出席委員 野原建一 委員（会長） ・ 山内文雄 委員（副会長）  
光永義則 委員 ・ 栗部秀道 委員 ・ 荒木和美 委員  
八谷るりこ 委員 ・ 堂面悦子 委員 ・ 佐藤浩子 委員  
齊森大助 委員
4. 欠席委員 小田恵子 委員
5. 出席職員 財政課長 西田 英司  
自治定住課長 宮崎 孝記  
市民生活課長 清水 勇人  
企画課長 兼森 博夫  
企画課政策推進係長 中田 博章  
企画課政策推進係 横山 敬之
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

## 平成 27 年度庄原市行政経営改革審議会次第

平成 28 年 3 月 28 日 (月)  
庄原市役所 5 階第 2 委員会室

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) 平成 27 年度庄原市財政計画について

(2) 第 2 期行政経営改革大綱の取り組み状況について

4. その他

5. 閉 会

## 会 議 経 過

### 1. 開 会

### 2. 会長あいさつ

本市が取り組むべき事項の報告を受け、厳しい財政状況の中、より良い行政経営改革となるよう、時間の許す限り皆さんのご意見をお願いしたい。

### 3. 議事

#### (1) 財政計画について

#### 【事務局より[平成27年度庄原市財政計画]資料の説明】

委 員：扶助費（社会保障費等）が同額となっているが、近年、少子高齢化の影響もあり、急増しているが、将来推計の考え方を説明願いたい。

また、財源不足をどのような取り組みにより解消していくのか説明願いたい。

事務局：これまでは扶助費が増加していたが、今後は逆に人口減少により右肩上がりとは限らず、決算等をみても横ばいに近づいており、このように推移するのではないかと見込んだ。

財源不足解消については、扶助費は義務的経費であり削減は難しい。

その他の業務委託料等の物件費、補助費等を中心に全体的な縮減を図る必要があると考える。

委 員：介護保険の特別会計でも年々増加しており、現実問題として扶助費の伸びを止めるのは大変難しく、具体策が見えてこない。財源不足解消には市民理解も得る必要があるが、議論が不足しているのではないかと。

また、実質公債費比率等を示すのもいいが、財政状況を示す指標としては財政力指数等の推移を示すべきと考える。10年後の財政力指数の見込みを推計しているか。

事務局：10年後の財政力指数の見込みは、現在とほぼ変わらないと推計している。

委 員：財政規模が大幅に縮減することは明らかであり、今後も本当に厳しい財政状況であることを充分認識し、行政運営に当たってほしい。

委 員：日医総研の試算では、高齢者人口はわずかず減少傾向であるが、それを支える生産年齢人口は、大きく減少することが予想され経済活動の停滞が懸念されるのか。

事務局：生産年齢人口が減少することにより市税収入の減収が懸念され、人口減対策が重要であると考えている。

会 長：歳出抑制にあわせて、歳入を減少させない施策が必要である。

委 員：6年度先以降の推計は数値の把握が非常に難しいと思うがどのように試算したのか。

事務局：職員数については、平成33年度まで定員適正化計画を定めており、以降は定員は横ばいとし、独自に新陳代謝等を試算することで、人件費を算定している。

#### (2) 第2期行政経営改革大綱の取り組み状況について

会 長：時間の関係上、事務局からの説明は、要点項目のみとするが質疑・意見については、説明を

省略した項目についても随時発言をお願いしたい。

【事務局より[第2期庄原市行政経営改革取り組み実績(平成27年度実績暫定版)]資料の説明】

－ 1. 行政評価について－

委員：いい制度であると思う。評価委員数は限られるが、プラモニ意見も参考としており、事業の実施過程も考慮し評価しており、意義がある制度であり、是非継続すべきと考える。

－ 3. 職員数の適正化－

委員：支所への教育室の設置の是非等を含め、どのような視点で職員数の減員を図っているのか。  
事務局：現場の声、市民の声を聞きながら、近隣市との比較や国の基準等を考慮し、適正な職員数となるよう決定していきたい。

また、業務量との関係においては、指定管理者制度の活用等、積極的なアウトソーシングに努めることとしている。

委員：都市部では、本庁支所の役割が、予算については本庁に集約するなどの手法をとっている自治体もあるが、今回の部長制の導入により、本市の支所の権能はどのようになるのか。

事務局：従来も予算の要求権は、支所から本庁担当課へ説明し、分野ごとに本庁担当課が要求する形式となっている。

なお、議会答弁については、未確定な部分もあるが部長が行うこととなるが、支所固有の案件については支所長対応となると思われる。

委員：部長、次長を設置したということは、新たな給料表の号級を設けたのか。

事務局：部長については新たな級を設けたが、次長は課長級の級とし、手当では課長より率が高くなる。

－ 5. 人事評価制度の導入－

委員：人事評価制度試行実施の結果はどのようになっているのか。

事務局：全体的な結果や傾向については、まだ報告をうけていない。

委員：最終評価者はだれになるのか。

事務局：係員は課長、課長は副市長である。

委員：透明公正な制度でないと組織が機能しなくなるので、よい制度を確立してほしい。

委員：評価される側が不信感や疑念を持つような制度とならないようにすること。

－ 6. 安定的な財政運営－

委員：目標は当然に100%とすべきと考えるが、現年市税収納率の目標を98%とした根拠はなにか。

事務局：当然に100%であるべきと考える。また、内部でもそのような意見もあったが、近隣他市の動向や内部検討会議で実現性のある目標とし、そこに向けて取り組みを進めようとの方針である。

もちろん滞納を認めている訳ではなく、あくまで目標数値である。

委員：保育料の督促状は郵送で交付しているのか。他の自治体では、保育所長が手渡しで督促状を

渡しているところもあり、人権に配慮しつつ、様々な手法を検討するべきではないか。

委員：滞納データについて、パーセンテージだけでなく金額も示してほしい。例えば保育料の滞納額はいくらか。

事務局：保育料滞納額は、2,400万円程度である。

委員：財政事情に無関心な市民も多いと思う。特に若い世代にわかりやすく情報提供してほしい。また、ふるさと納税について積極的なPRをしてほしい。

#### － 7. 公有財産の最適管理(ファシリティマネジメント) －

【事務局より[庄原市公共施設等総合管理計画 概要版]資料の説明】

委員：公共施設等総合管理計画の今後の方針は比和の「あけぼの荘」も対象となるのか。

事務局：本計画は、既存施設が対象となる。「あけぼの荘」については、内部でも議論したが合併建設計画掲載事業であり、建設することとなった。施設整備後に個別計画を策定し公共施設等総合管理計画の方針のもと運営することとなる。

委員：新規施設がどんどん整備されると将来同じような課題が生じる。

委員：施設評価は、内部評価となるのか外部委員などの評価となるのか。

事務局：内部評価となる。

委員：やはり外部からの視点、意見も必要と思う。外部評価の導入も検討されたい。

#### － 8. 生活交通施策の見直し －

委員：第2期庄原市生活交通ネットワーク再編計画を策定されているが、経費は抑制されていないし、多額の経費を投じて乗車人員が増えておらず、何ら改善がされていない。

担当課だけの課題ではなく、「まちづくり」そのものであり、経費削減だけでなく利用促進策を講じてほしい。

委員：際限なく補助することは適当でないが福祉的な視点も必要である。

委員：高齢者の外出機会、通学手段の確保等、生活に必要な事業である。

委員：フリー乗降バスが増えれば便利ではないか。また、知らない市民もおられると思うので周知を行っていただきたい。

委員：危機的な財政状況であることも市民に理解していただく必要がある。

#### － 10. まちづくり基本条例を基底としたまちづくりの推進 －

委員：まちづくり基本条例の精神は市民主役のまちづくりであり、情報共有が重要である。

財政状況についてもほとんどの市民が知らない状況であり、一緒にまちづくりを行う意識が醸成されない。地域包括ケアについても同様であり、もっと具体的に考えていただきたい。

市民主役のまちづくりとは行政がなにもしなくてもいいというものではなく、行政の姿勢も改善する必要があるのではないか。まちづくり基本条例の進捗管理を行ってほしい。

会長：まちづくり行動計画は、平成28年度に策定することということによろしいか。

事務局：まちづくり行動計画と長期総合計画の目標が同様の部分があり、まちづくり行動計画を策定

するのか否かを含め検討する必要がある。

会 長：まちづくり基本条例の精神を鑑み、ぜひ、検討いただきたい。

－共通事項について－

委 員：平成27年度決算終了後の記入項目が多いが、暫定的、中間見込み数値であってもよいので、見込み数値を記入することはできないか。

事務局：できる限り見込みが把握できるものについては、中間数値等を記入したい。

#### 4. その他

なし

#### 5. 閉 会